

メトレプチンによる治療を受ける

し ぼう い しゅくしょう

脂肪萎縮症の患者さんへ

監修：中尾 一和 先生

京都大学名誉教授

京都大学医学研究科 メディカルイノベーションセンター



はじめに

脂肪萎縮症は、脂肪組織が減少したり、ほとんどなくなってしまうたりする病気です。

脂肪萎縮症では、脂肪組織が減少したり、ほとんどなくなってしまうために、脂肪細胞から分泌されるレプチンというホルモンが少なくなります。レプチンは、食欲調節、糖代謝、脂質代謝において重要なはたらきを行っていることから、レプチンの分泌が減ると過食、糖尿病、高トリグリセリド（中性脂肪）血症、脂肪肝などが起こってきます。

脂肪萎縮症のために脂肪細胞からの分泌が減少したレプチンを補充する治療法の有効性が報告されています。

本冊子は、脂肪萎縮症とレプチンについてわかりやすくまとめました。是非とも、ご一読ください。

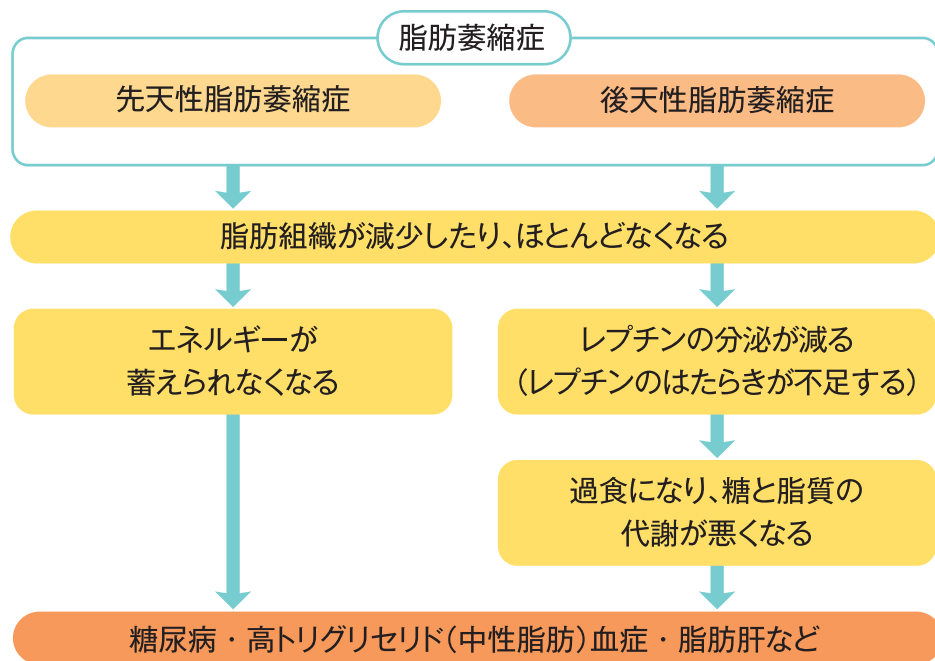
中尾 一和 先生

京都大学名誉教授

京都大学医学研究科 メディカルイノベーションセンター

●●● 脂肪萎縮症とは ●●●

脂肪萎縮症は、患者さんの数が約 100万人に 1人と極めて稀な病気です。脂肪萎縮症は、身体にある脂肪組織が減少したり、ほとんどなくなってしまう病気です。

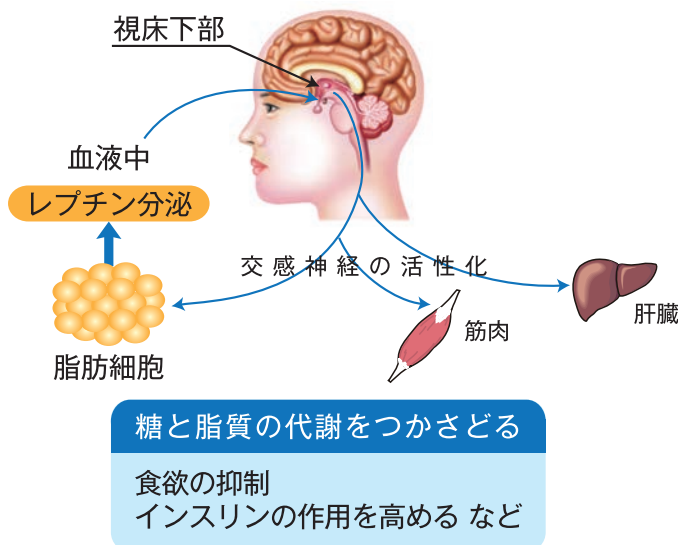


脂肪萎縮症の分類と原因

脂肪萎縮症には、全身の脂肪組織が減少する全身性のものと特定の部分の脂肪組織が左右対称に減少する部分性のものがあります。病因は先天性と後天性のものに二分されます。

●●● 脂肪萎縮症とレプチン ●●●

脂肪組織は、栄養の貯蔵、保温などのはたらきや身体の外からの衝撃を和らげるはたらきをしています。また、脂肪組織からは、身体のはたらきを調節するいくつかのホルモン（アディポカインと総称される）が分泌されています。脂肪萎縮症では、脂肪組織が減少したり、ほとんどなくなってしまうために、食欲や糖と脂質の代謝（体内で分解・処理し、エネルギー化すること）に重要な役割を果たしているレプチンというホルモンも減ってしまいます。そのため、過食になり、糖と脂質の代謝異常が起こり、糖尿病、高トリグリセリド（中性脂肪）血症、脂肪肝などの病気にかかりやすくなります。



レプチンの作用

脂肪細胞から分泌されたレプチンは、脳の視床下部に作用して、食欲を抑制したり、血糖を調整するインスリンの作用を高めるなど、糖と脂質の代謝に重要です。

● 糖尿病

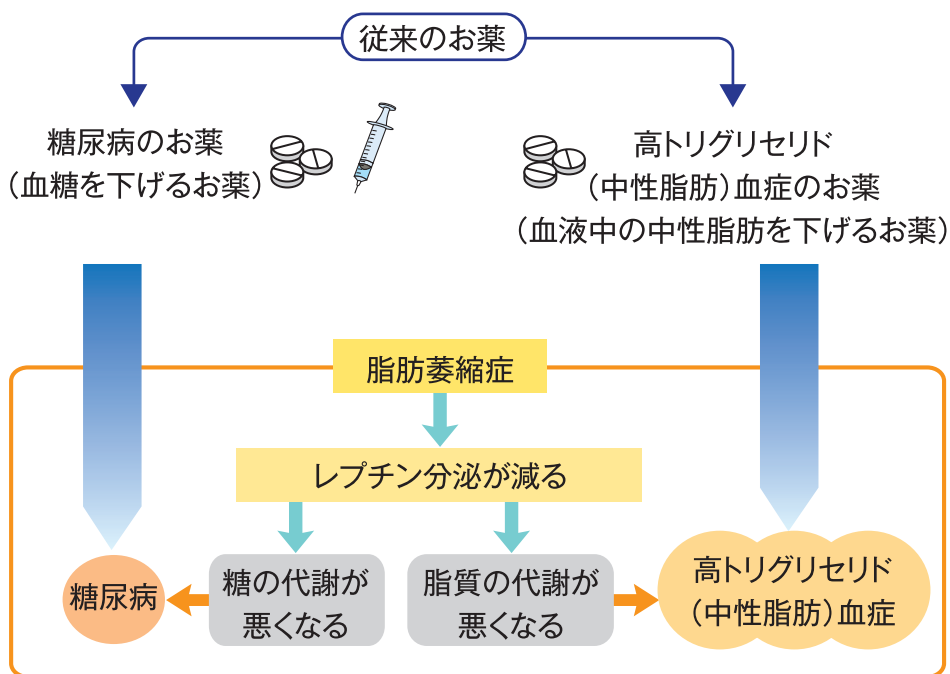
糖尿病はインスリンが不足しているか、あるいはインスリンの効きが悪くなり、血糖値が高くなる病気です。

糖尿病は、大きく分けると、1型糖尿病と2型糖尿病の2つに分けられます。1型糖尿病の多くは、インスリンを分泌する膵臓の β 細胞に自己免疫反応[※]が起こり、 β 細胞が傷害されることによってインスリンが不足して発症します。2型糖尿病は、インスリンの効きが悪くなったり、インスリンの分泌不足により発症します。食べ過ぎや運動不足、ストレスなどが深く関係していると考えられています。脂肪萎縮症の糖尿病はインスリンの効きが悪くなるために起こり、脂肪萎縮性糖尿病と呼ばれています。

※：本来自分の体内にあるものを異物とみなして攻撃してしまうこと。

● 高トリグリセリド（中性脂肪）血症

高トリグリセリド（中性脂肪）血症は、血液中の中性脂肪が著しく増加する病気です。



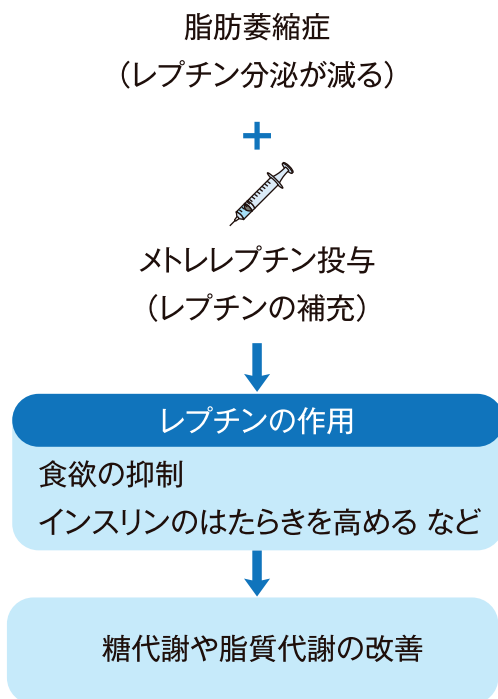
● 脂肪肝

脂肪肝は、肝臓に中性脂肪が異常に蓄積した状態のことです。

●●● メトレレプチンの特徴と副作用 ●●●

メトレレプチンの特徴

脂肪萎縮症では脂肪細胞から分泌されるレプチンが減少していますが、メトレレプチンは、その減少したレプチンを補充することによって脂肪萎縮症における糖代謝と脂質代謝を改善します。
(メトレレプチンはレプチンと同じ作用をもつお薬です。)



メトレレプチンは冷蔵庫に保管してください。

メトレプレチンの副作用

- ・よくみられる副作用は、腫れ・痛み・かゆみ・発赤などの注射部位の反応です。
- ・重大な副作用として、蕁麻疹、全身性の発疹を含む過敏症があらわれることがあります。
- ・急性膵炎

このお薬を急に中止された患者さんで「急性膵炎」が起こることが報告されています。急性膵炎が起きる原因として、血中トリグリセリド（中性脂肪）の急激な上昇があげられます。もともと高トリグリセリド（中性脂肪）血症があったり、過去に膵炎になったことがある患者さんでは、特に注意が必要です。ご自身の判断で、このお薬を中止しないでください。

激しい腹痛がみられる場合には、急性膵炎の発症の可能性がありますので、すぐに医師にご相談ください。

【急性膵炎の症状】

- 激しい腹痛（みぞおちから背部に強い持続痛）
- 吐き気
- 腹部膨満感
- 発熱 など

・低血糖

糖尿病治療薬と一緒に使う必要のある患者さんで、副作用として「低血糖」が起こる可能性があります。

【低血糖の症状】

○激しい空腹感 ○だるさ ○冷や汗 ○手足のふるえ ○顔面蒼白
○動悸（脈が速くなる） ○めまい ○失神 ○頭痛 など

低血糖の症状を疑ったら、すぐにブドウ糖（10g）や砂糖（20g）をとるようにしてください。そのために、ブドウ糖や砂糖やそれらを含む飲食物を持ち歩き、いつでもどこでもとれるように準備してください。また、すぐに医師やかかりつけの薬局にご相談ください。



砂糖

[注意]

α -グルコシダーゼ阻害薬（アカルボース、ボグリボース、ミグリトール）をのんでいる場合には砂糖を食べても効きません。それはこれらの薬剤が砂糖の消化や吸収を遅らせてしまうからです。必ずブドウ糖を10gとってください。携帯用のブドウ糖についてやその他何かわからないことがあれば医師にご相談ください。

●●● 注射記録をつけましょう ●●●

年 月

メトレレプチン投与量	月 日	mL
	月 日	mL

投与日	投与時間	メモ	投与日	投与時間	メモ
1日	:		16日	:	
2日	:		17日	:	
3日	:		18日	:	
4日	:		19日	:	
5日	:		20日	:	
6日	:		21日	:	
7日	:		22日	:	
8日	:		23日	:	
9日	:		24日	:	
10日	:		25日	:	
11日	:		26日	:	
12日	:		27日	:	
13日	:		28日	:	
14日	:		29日	:	
15日	:		30日	:	
			31日	:	

●●● 注射記録をつけましょう ●●●

年 月

メトレレプチン投与量	月 日	mL
	月 日	mL

投与日	投与時間	メモ	投与日	投与時間	メモ
1日	:		16日	:	
2日	:		17日	:	
3日	:		18日	:	
4日	:		19日	:	
5日	:		20日	:	
6日	:		21日	:	
7日	:		22日	:	
8日	:		23日	:	
9日	:		24日	:	
10日	:		25日	:	
11日	:		26日	:	
12日	:		27日	:	
13日	:		28日	:	
14日	:		29日	:	
15日	:		30日	:	
			31日	:	

●●● 注射記録をつけましょう ●●●

年 月

メトレレプチン投与量	月 日	mL
	月 日	mL

投与日	投与時間	メモ	投与日	投与時間	メモ
1日	:		16日	:	
2日	:		17日	:	
3日	:		18日	:	
4日	:		19日	:	
5日	:		20日	:	
6日	:		21日	:	
7日	:		22日	:	
8日	:		23日	:	
9日	:		24日	:	
10日	:		25日	:	
11日	:		26日	:	
12日	:		27日	:	
13日	:		28日	:	
14日	:		29日	:	
15日	:		30日	:	
			31日	:	

●●● 注射記録をつけましょう ●●●

年 月

メトレレプチン投与量	月 日	mL
	月 日	mL

投与日	投与時間	メモ	投与日	投与時間	メモ
1日	:		16日	:	
2日	:		17日	:	
3日	:		18日	:	
4日	:		19日	:	
5日	:		20日	:	
6日	:		21日	:	
7日	:		22日	:	
8日	:		23日	:	
9日	:		24日	:	
10日	:		25日	:	
11日	:		26日	:	
12日	:		27日	:	
13日	:		28日	:	
14日	:		29日	:	
15日	:		30日	:	
			31日	:	

年 月

メトレレプチン投与量	月 日	mL
	月 日	mL

投与日	投与時間	メモ	投与日	投与時間	メモ
1日	:		16日	:	
2日	:		17日	:	
3日	:		18日	:	
4日	:		19日	:	
5日	:		20日	:	
6日	:		21日	:	
7日	:		22日	:	
8日	:		23日	:	
9日	:		24日	:	
10日	:		25日	:	
11日	:		26日	:	
12日	:		27日	:	
13日	:		28日	:	
14日	:		29日	:	
15日	:		30日	:	
			31日	:	

●●● 注射記録をつけましょう ●●●

年 月

メトレレプチン投与量	月 日	mL
	月 日	mL

投与日	投与時間	メモ	投与日	投与時間	メモ
1日	:		16日	:	
2日	:		17日	:	
3日	:		18日	:	
4日	:		19日	:	
5日	:		20日	:	
6日	:		21日	:	
7日	:		22日	:	
8日	:		23日	:	
9日	:		24日	:	
10日	:		25日	:	
11日	:		26日	:	
12日	:		27日	:	
13日	:		28日	:	
14日	:		29日	:	
15日	:		30日	:	
			31日	:	

医療機関名等